

10N049_胃_VYLOY+FOLFOX_2週毎

Zolbetuximab(Day1) + l-LV(Day1) + FU(Day1・2) + L-OHP(Day1) 2週毎

◆ _____月 _____日(Day1)から _____コース実施。(外来で実施・入院で実施)

Rp	商品名	用量[基準量]	投与方法	Day0	1	2	3	4	5	6	7
1	ヘパリンNaロック100u/mLシリンジ	1 筒	導通確認		●						
2	オランザピンOD錠5mg	1 錠	po / 朝食後		●	●	●	●	●	●	
3	デカドロン錠0.5mg	16 錠	po			●	●	●			
4	パロセトロン注バッグ0.75mg/50mL デカドロン注射液1.65mg アロカリス点滴静注235mg ポララミン注5mg	1 袋 6 A 1 瓶 1 A	div / 30min		●						
5	生食注(50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						
6	生食注 ビロイ点滴静注用	※1 _____mg [初回 800mg/m ²] _____mg [2回目以降 400mg/m ²]	div / ※2		○						
7	生食注(50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						
8	ブドウ糖注5%(250mL) オキサリプラチン点滴静注液	1 袋 _____mg[85mg/m ²]	div(メイン)/ 2hr l-LVと同時		○						
9	ブドウ糖注5%(250mL) レボホリナート注	1 袋 _____mg [l-LV200mg/m ²]	div(側管)/ 2hr L-OHPと同時		●						
10	生食注(50mL) フルオロウラシル注	1 瓶 _____mg[400mg/m ²]	div(メイン)/ 全開		○						
11	生食注 フルオロウラシル注	※3 _____mg[2400mg/m ²]	div(メイン)/ 46hr		○						
12	ヘパリンNaロック100u/mLシリンジ	1 筒	ヘパロック							●	

※1 ビロイ注は投与量によって輸液量を変更する

300~599mgは生食100mL : 600~1599mgは生食250mL : 1600mg以上は生食500mL

※2 投与速度 (1段階→2段階→3段階と、30分毎に1段階ずつ速度を上げる)

輸液が生食100mL(300-599mg) : 1段階 15mL/hr → 2段階 30mL/hr → 3段階 60mL/hr

輸液が生食250mL(600-1599mg) : 1段階 35mL/hr → 2段階 70mL/hr → 3段階 140mL/hr

輸液が生食500mL(1600mg以上) : 1段階 70mL/hr → 2段階 140mL/hr → 3段階 280mL/hr

(注)Grade2以上の嘔吐・悪心発現時は投与中断し、症状回復後 半分の速度 で再開。以降問題なければ30分毎に1段階ずつ速度を上げる。

※3 フルオロウラシル注のリザーバー全量は薬剤部規定の希釈表に従うものとする。<注入時間:約46時間>